

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者、職員間で理念を共有できるように職員研修等で共有し話し合いの時間をもち実践に繋げている	ひなぼつこととしての理念をつくり、それを管理者、職員間で共有を進めるため、話し合いの時間をもうけています。例えば、入居者との自尊心を傷つけない関わり方や接し方について意見交換を行っています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響で利用者と地域との交流の場を設ける機会を得る事はできなかったが、開設当初より関係を築いてきた近隣のボランティアや町会との関係が途切れぬよう努めている	町会に加入し、回覧板や近所から事情を得て、必要に応じて班長や会長と連絡のやり取りを行い、町会との関係性を維持しています。また散歩でボランティアの前を通り、日常的な交流も行っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所の代表が松戸市の認知症研究会の委員として活動しており地域活動に積極的に活動している。今年度はオンライン研修で地域の方々に向けた研修も行った		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルスの感染症対策で運営推進会議の開催は行えなかったが、地域包括、民生委員、相談員、ご家族等に書面で報告を行った。毎回運営等に関する意見やアンケートの実施を行い寄せられた意見を参考にしてサービスの向上に活かしている。	コロナ禍のため運営推進会議の開催に代え、地域包括、民生委員、相談員、利用者家族等に書面で報告を行い、意見やアンケートを求めています。認知症予防運動と脳トレの要望が多く、毎日の散歩や利用者の自主的なホーム内歩行を積極的に行なっています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事業所代表が市の取り組みとして行っている認知症研究会の委員として参加しており、認知症の方々への社会参加の活動の協力を行っている。	事業所の代表が松戸市の認知症研究会の委員を務め、認知症の人の社会参加の協力を行っています。松戸市役所内で認知症当事者が作った作品を展示、入居者の作品も出品し見学にも行きました。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開設当初から玄関の施錠はせずに入出入りは自由な環境を実践していたが、現在はコロナ禍により感染対策の一環として施錠を行っている。施錠はしているが利用者が望んだ時には職員が付添って対応をする。日々のケアでは活動の制限をしないよう取り組んでいる	普段は玄関の施錠はせず、出入り自由な環境を実践していますが、1日に8～10回 外へ行くとする利用者、落ち着かず外への関心が強い利用者もいて30～40分程の散歩を3～4回行う日もあります。日々のケアでは活動の制限をしないよう取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についてホーム内研修を行い学ぶ機会を得ている。事業所内では各職員の表情や声のトーンに注意を払い、お互いに注意をし虐待が行われない環境作りに努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について理解できるよう研修を行い必要に応じた支援が行えるようにしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時には契約前に十分な説明を行った後に契約を行っている。解約や改定の際にも十分に説明を行い理解、納得して頂けるよう努めている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍に因り現在は相談委員の訪問も中止となっているが、利用者の意見、要望は職員がよく話を聞き要望に沿えるよう対応を行っている。ご家族には運営推進会議の報告の際に意見を書面でいただき運営に反映させている	利用者の要望としては、旅行や外出に行きたい、入浴の順番や家族との面会等あります。これらの要望に答え、「ほっこ」だよりにおいて日々の様子を伝えていきます。利用者家族からは高い評価を得ています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関し意見を出しやすい環境作りに取り組んでいる。出された意見に関してはミーティングの場で各職員に意見を求め反映できるよう取り組んでいる	職員から個別に話を聞く機会を多く設けています。意見としては、行事の開催内容、予算について、ホームの環境整備や備品購入、ケアについて等出ています。これをミーティングで検討して運営に反映しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	今年度は管理者会議を月に一度開催し管理者、職員の勤務状況等の把握に努めた。常勤職員にはやりがいや向上心を持って働けるよう自己評価、目標設置を行っている。勤続表彰制度の実施、給与改善や労働時間に配慮し少しでも働きやすい環境の整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナ禍のため外部研修はオンライン研修参加を行った。今年度はホーム内研修の見直しを行い知識レベルの向上を図る為に各常勤職員に担当を行ってもらった他、他ユニットとの交換研修を行い働きながらトレーニングが出来るよう務めた		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	協議会の役員を引き受け、他の事業者とのネットワークの構築に関わり、管理者交流や勉強会等の活動を通じて、サービスの質の向上が図れるよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族や担当のケアマネージャーから情報収集し、家庭に訪問した際やホーム見学の際に本人の思いや困りごとに耳を傾け安心して生活を行っていただけるよう関係作りに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が一番に困っていること、ホームに入居することへの不安が少しでも軽減できるよう要望を聞きながら安心感を持っていただけるよう関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族どちらかに迷いが生じた場合や入居することが必要な支援であるのかの見極めを行い、担当のケアマネージャーとも相談しながら入居以外のサービスの利用を検討していただく等の対応を行っている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	各利用者のできること、できないことの見極めを行い、生活の中で活動の場を多く設けており、裁縫、料理等各入居者が得意な事は教えて頂きながらお互いに寄り添い生活して行けるよう関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームで離れて暮らしていても家族との絆を大切に保てるよう支援している。コロナ禍になり面会制限を実施しているが電話で話して頂いたり窓越しで顔を合わせて頂けるよう感染対策を行いながら関係を築いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症対策のため馴染みの場所への外出は実施出来ないが、電話やはがき等のやり取りはご家族にも協力を得ながら関係が途切れないように支援を行っている	利用者が馴染みの場として訪問を希望するところは、行きつけの美容院、デパートや馴染みの商店等ですが、希望に答えるため電話やはがきのやり取りで家族の協力を得ながら支援を行っています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、関わり合えるよう支援を行っている。関わり合いの中で、お互いに様子を気遣う等、様々な場面で支え合う様子がみられている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの終了後も連絡を取り合い様子を伺ったり、相談事や必要な支援は応じるよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人思いや意向を把握し出来る限り実現できるように検討し実施している。コロナ禍で思うように外出が出来なくなったが、以前の様に本人の意向に合わせた外出支援が行える様に終息後にはご家族にも協力を得ながら検討して行きたい	本人の思いや意向を把握し直ぐに実施できることは実施しています。内容に依りホームでの対応が困難な場合は、家族に相談しています。感染対策をしながら馴染みの美容室へ通ったりしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族、担当のケアマネージャーから情報を得ている。一人ひとりの馴染みの暮らし方、生活環境にも留意しホームでの生活に出来るだけ取り入れられるよう入居後にも様々な場面で本人から聞き取りを行い把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	できることの把握に努めている。いま出来る事が継続出来るよう支援を行っている。現状の身体能力把握に努め変化がみられた場合には一日の過ごし方の検討を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ケース会議を行っている。検討会では参加者で意見やアイデアを出し合い話し合いを行っている。ご家族、担当医や歯科医師、歯科衛生士、看護師の意見も反映して介護計画を作成している	毎月の検討会では、食事が少ない利用者の場合、食事形態や見た目、体調や精神状態、口腔内についてなど意見を出し合い、家族、担当医や歯科医師、歯科衛生士、看護師の意見も入れ介護計画を作成しています	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や検討会で話し合った課題についての実践や結果等の内容を記録し、職員間で共有できるようにしている。実践方法の見直しや介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況やニーズに対応できるように心掛けている。コロナ禍で対応が難しい事もあるが、制限がある中でもできるだけ柔軟に応じられるよう検討できる環境を整えている		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルス感染症対策でホームに制限を掛けたため地域資源の活用が困難であった			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅からのかかりつけ医が来所し訪問診療を受けたり、訪問診療が難しい場合にはご家族に協力を得ながら通院を行っている。担当医とは事業所から情報提供を行ったり、担当医から情報を受けながら適切な医療が受けられるよう支援を行っている	受診は利用者、家族の希望に沿って決めています。半数の人が在宅からのかかりつけ医が来所して自分の部屋で訪問診療を受けています。訪問診療が難しい人は、家族の協力を得て職員と通院しています。文書や電話でのやり取り、情報の共有を図っています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤の看護師が配置されている為、昼夜問わず情報を伝え相談しやすい環境にある。看護師への報告、相談が直ぐに行えるため指示が早く異常の早期発見にも繋がっている			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した場合には情報提供を行う他、必要に応じてご家族の意向も医療関係者に伝えている。退院後の受け入れに関して主治医、看護師と連携を取りながら早期に退院出来るよう努めている。			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の時点で看取りに関する指針を説明している。利用者の状態に応じ医師、家族と話し合いを行い方針の共有を行っている。コロナ禍でも感染症対策を講じながら医師、家族と協力し看取りを行っている	入居の時点で看取りに関する指針を説明し医師、利用者、家族と話し合い方針の共有をしています。コロナ禍でも感染対策を行い家族が毎日面会が出来るようにしています。医師、家族とも連携をとり納得のいく最後が迎えられよう支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時に備えて研修を行っている。急変や事故発生に備え連絡網や緊急対応マニュアルを作成し事務所内の目に付く場所に掲示し直ぐに対応出来るようにしている			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間の避難も想定した避難訓練を実施している。地域の方には避難の協力を得る他、事業所として地域に協力できるよう必要に応じてホームを避難場所として使用していただくよう伝えている	夜間の避難も想定して避難訓練を行っています。地域の協力も得て、職員には参加した人に対して具体的な協力方法をその場で伝えています。参加者から全員を避難させることの難しさなどの声が寄せられていました。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修を行い人格を尊重し、プライバシーを損ねない声掛けや対応ができるよう努めている。職員同士がその場で注意ができる環境を整えている	プライバシーを損ねない言葉かけや、対応が出来るように研修を行い、日々努めています。日常職員同士も場にふさわしくない言葉かけや対応があった場合は注意し合う事が出来る様になり、改善しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の些細な場面においても思いや希望を表し、自己決定できるよう働きかけを行い、職員が指示するのではなく利用者本人に選んで決めてもらう場面を多く作っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	活動の提案は行うが無理強いはせず一人ひとりのペースで過ごす時間を大切にしている。読書、編み物、鉢植えの手入れ等本人の希望にそって過ごせるよう支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えの際には本人に洋服を選んでもらったり、行事に合わせたお化粧品や好きな衣装を選んでもらうようにしている。本人が長年使用している化粧品等が継続して使用できるようご家族にも協力を得ている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自然豊かな環境にあり、季節の山菜を入居者と一緒に採り調理法を相談しながら献立に加えている。調理の手助けや食器洗い、食器拭きは日課となっている。毎月イベント食を行い利用者の要望や好み、季節に応じた食事を利用者と一緒に作り楽しんでもらえるよう努めている	季節の山菜など利用者と一緒に取りに行き、献立を考え山菜の天ぷら、煮物など一緒に作り楽しみながら食べています。毎月、イベント食を行い利用者の要望、季節感を取り入れた食事を一緒に作っています。元日のお祝い膳、花見弁当を外で食べたりもしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事量をチェック表に記録し、必要量が確保できるよう努めている。日頃より様子観察に努めて状態に合わせた食事形態の提供や習慣に合わせた支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施している。歯科衛生士、看護師に指導を受け一人ひとりの状態に合わせて歯間ブラシ、口腔スポンジや口腔洗浄剤、ジェル等を使用し口腔内が清潔に保てるようケアを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄ができるよう排泄チェック表を活用し、排泄パターンの把握に努めトイレでの排泄や排泄にむけた支援に取り組んでいる	トイレでの排泄が出来るように排泄パターンを把握して、日中はハビリパンツや布パンツで過ごす様にしてトイレでの排泄や排泄の自立に向けて取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の予防や及ぼす影響を理解し、毎日の体操や散歩を行い、個々に応じて乳酸飲料や牛乳を飲んでいただいている。排泄リズムの把握に努め必要に応じ運動量や水分量を増やし自然な排泄ができるよう支援している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の順番や時間は本人に確認し行っている。入浴を楽しんでいただけるよう好みの入浴剤やシャンプーを使用している。拒否のある方には声掛けの工夫を行い、成功した声掛けや対応を職員間で共有し楽しんで入浴していただけるよう支援している	入浴は回数、順番、時間は決めてなく利用者を確認をとりながら行ってます。入浴を嫌がる人に対しては「髭剃りに行きましょう」など声かけに工夫して、職員間で成功体験を共有しています。利用者の好みの入浴剤やシャンプーを使用して楽しんで貰っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や要望に応じ、休息できるように支援している。就寝前には落ち着ける環境を整え、居室内の温度調整や寝具を整えている。寒い時期には湯たんぽや電気マット等を使用し安心して気持ちよく休めるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、薬剤師、看護師、介護職員で情報を共有し、服薬の支援と症状の変化に努めている。状態の変化に合わせて内服薬の調整や量が最小限になるよう主治医に相談している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	読書や草花の手入れ、編み物等の趣味が継続できるようご家族にも協力してもらい環境を整えている。家事活動、季節に合わせた制作活動を通じ四季を感じていただきながら達成感が得られるよう支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス感染症により、普段は行けないような場所への外出は行えなかったが、ホーム内だけの生活にならないよう人ごみを避けて花見やドライブに出掛けたり、近隣への散歩、外気浴は日常的に行っている	コロナ禍で、外出の範囲も少なくなっていますが、「ホーム内だけの生活にならないように！」との思いから人混みを避けて花見やドライブ、近隣の毎日の散歩等外出の機会を確保しています。体調の悪い人にはデッキでの外気浴を行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の財布を事務所の金庫に預かり、外出する際は本人が所持したり、使えるように支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の要望に合わせてご家族に電話をしたり、携帯電話を持っている方に使用できるよう充電や使用の際の支援を行っている。手紙や年賀状の支援も行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた室温、湿度を管理している。リビングは開放的で窓も多く木々や草花を見ながら季節を感じていただいている。リビングに続くキッチンがオープンになっており手伝いを行いやすい環境となっている。掲示物にも配慮し季節に応じた作品を飾っている	共用空間は開放的でキッチンもオープンになっているので、声がけしなくても、利用者が自分から手伝いをしたり、のびのびと生活をしている姿が伝わってきます。ソファークッションが方々に置き、一人の場、気の合う人と過ごす場などを確保しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファークッションが置いてある空間や玄関脇にもソファークッションを置き共有空間の中でも気の合う人と過ごしたり、一人で編み物や読書、うたた寝等をして過ごせる居場所がある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は本人、家族と相談しながら自宅で使い慣れた家具等を持ち込んでいる。仏壇や家族との思い出の写真、手作りの作品等を飾り、本人が居心地よく過ごせる工夫をしている	居室内は自宅で使い慣れた家具、仏壇や家族を持ち込み、思い出の写真、手作り作品などを飾り居心地よい空間作りをしています。持ち込みが少ない人には、施設の備品を貸し出し、手作り作品などを展示しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室やトイレの場所がわかるよう掲示している。外部に続く扉やドアには人感センサーを取り付け安全に配慮した環境作りを行っている		